

ロードマップローリングに対する学会方針について

平成 27 年 6 月に最終報告を行った軽水炉安全技術・人材ロードマップについて、最終報告時に確認された基本方針に則り、ローリングを実施する。

・ローリング実施意義

- ✓最新知見の反映（課題設定、研究プロセス等に対して）
- ✓課題解決への取り組み状況に係る（ステークホルダー間の）コミュニケーション
- ✓世代間の知識伝承およびそのためのコミュニケーション

・ローリングの実施方法

- (a) 政策方針の決定・変更等があった場合のローリング
- (b) 1 年に 1 度の定期的なローリング

ローリングの基本方針を改めて確認し、平成 27 年度の研究成果をローリングに反映させるためのスコープや工程を定める。

特に最終報告の中で指摘しているローリング実施上の課題について再整理し、今回のローリングプロセスに反映する。

学会が主体的にローリングを実施していくための要件を明確化し、ローリング実施体制を再構築する。

・学会内での組織編制

- ✓特別専門委員会設置期間（～2016 年 3 月）終了後の体制
- ✓安全対策ロードマップ検討委員会（仮称）が検討されている。